



主力製品 エンジン排気消音器

○本社所在地：東京都中央区八丁堀4-13-4

○事業概要：サイレンサー（消音器）、産業・建設機械、電子機器等の設計・製造・販売およびサービス提供

○常時使用する従業員：160名（グループ全体・2025年3月期）

○現在の売上高：54億円（グループ全体・2025年3月期）

○法人番号：1010001044861

○Web：https://www.sk-tech.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
鈴木 康夫

「人生をより豊かに」「三方良しの実践」「長期の利益優先」

「人生をより豊かに」「三方良しの実践」「長期の利益優先」の理念のもと、モノづくりの分かる商社・商社マインドを持ったメーカーとして長期的視野に立ち、お客様の真の利益を最優先とした提案を行っております。売上高100億円を達成することで社会的存在価値を高め、社員・取引先・地域社会からより一層信頼される企業となります。
当社グループは、**2036年に売上高100億円**を達成することを宣言します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ・当社は、**当期売上高見込みである65億円**を起点として、既存事業の伸長および重点領域への投資・販路拡大・生産体制の強化を段階的に実行し、**2036年に売上高100億円**の実現を目指す。
- ・**なお、当社における現時点での最終目標売上は100億円**であり、当該目標の達成に向けて経営資源を集中的に投下する。

課題

- ・近年市場が拡大している業界（**データセンター・防衛・造船**）は今後10年以上続く見込みであるが、製品寸法が10mを超える大型製品が大半を占めており、既存設備では必要な生産能力を満たしていないため、多くを協力会社に一部工程を製作委託している。しかし今後も案件増加が見込まれるため、売上高100億円達成に向け受注機会を取りこぼさない生産体制整備が喫緊の課題である。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・コアディーゼル社山梨工場増築及び生産性向上のためレイアウト変更
- ・SKテック社秦野第二工場改修及び生産能力向上のためレイアウト変更
- ・近年市場が拡大している業界（**データセンター・防衛・造船**）は既存設備では対応できないため、それらを自社製作するために改修及び増築を行う
- ・**処遇改善により人員15～20名を増員して設計・営業・製造各部門増員による人員体制強化**

実施体制

- ・社長直轄での設備投資推進体制の構築（2社統合体制）
- ・内製比率向上のための設計部門・製造部門の強化
- ・溶接ロボット開発に関するシステムインテグレーターとの連携体制の構築

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現に向けた取り組み内容

1. 生産能力の向上を目的とした設備投資

現在課題となっている生産能力向上のため、SKテック社秦野第2工場の改修及び、レイアウト適正化、コアディーゼル社山梨工場の増築およびレイアウト適正化、さらにコアディーゼル社岡山工場への溶接ロボット導入を断行する。

2. グループ経営管理体制の高度化

売上高100億円の実現に向けては、個別施策の積み重ねのみならず、グループ全体における経営管理体制の高度化が不可欠である。経営戦略の共有と部門横断的な連携を強化し、案件情報・原価管理・収益分析の精度を向上させることで、持続的な利益創出体質の確立を推進する。

3. 組織運営と事業基盤の強化

拠点間の情報共有と人材交流を促進し、技術・営業・製造の知見を横断的に活用できる組織運営を展開する。これにより、特定分野や一時的な需要変動に左右されない、安定的な事業基盤を構築する。

4. 人材育成とDXによる生産性向上

将来を見据えた次世代リーダーの育成に注力し、組織の自律的成長を促す体制を整備する。また、業務の標準化とDX推進を通じて生産性を高め、収益力の強化と賃上げ原資の確保を両立させる。

※これらの取り組みを通じ、外部環境の変化に柔軟に対応し得る強固な経営基盤を築き、2036年に売上高100億円を目指す。

